

北の子

浜岡北小学校だより 2019年度9月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」いっぱいの子

＜重点目標＞

みんなで考え みんなで伸びる

「たくましさ」と「思いやり」いっぱいの人になるために

学校では、月1回「こころの日」があり、おはようタイム(8:00～8:10)に養護教諭が全校放送で「心の健康」に関する指導をしています。9月2日(月)のテーマは、「自分の気持ちを伝える話し方」でした。本テーマをとりあげた理由は、日頃の子どもたちの会話を聞いていると、攻撃的な言い方をしたり自分の気持ちを上手に相手に伝えられなかったりする場面があるからです。そこで、

あなたには、どうしても読みたい本がありました。とても人気がある本です。ずっとずっと待っていて、今日やっと借りることができました。さっそくその本を教室で読んでみると、友達がやってきて「その本おもしろそうだね。僕に貸して。」と言ってきました。こんなとき、何と言うでしょうか？

という質問に対して以下の3通りの話し方を紹介し、聞いた友達の感じ方の違いを想像させました。

① 「はっ、いやだね！今読んでるだろ！貸すわけないじゃん！」(いばりや)

② 「えっ、えっと…あのう…うん、いいけど…」(おどおど)。

③ 「この本とってもおもしろいから、あなたも読むといいよ。でもね、私も今読み始めたところだから、私が読み終わってからでもいいかな？」(さわやか)

人によって感じ方は違います。しかし、③の言い方は、友達の気持ちも考えながら自分の思いを伝えているので、読み終わるまで待ってくれる友達が多いでしょう。これは、本校の教育目標のうち「**思いやり**」**いっぱい**に繋がります。ですから、こういった話し方ができる子が増えることで、どの子にとっても学校生活がより楽しくなることを願っています。

しかし、世の中は、③のような人ばかりではありません。中には①のように攻撃的な言い方をする人もいます。また、働くようになれば、上司から厳しい言葉で指導されることもあるでしょう。さらには、今後、仕事などで外国人と話す機会が増えると思いますが、日本人より自己主張が強いことに驚く場面があるかもしれません。そういった人とも上手に関わっていけるようにすることは、本校の教育目標のうち「**たくましさ**」**いっぱい**に繋がります。

将来このような「たくましさ」と「思いやり」を生かし、多様な人と上手に関わり合って前向きに生きていく大人に成長することを願っていますが、現在、授業で重点的に取り組んでいることも効果的な方法の一つではないかと考えています。それは、「**対話**」を重視した授業です。本校では、**対話活動**を以下のように押さえました。

子どもたちが自分の考えをもって、友達と話し合ったり聞いたりする活動を通して、いろいろな考えを知ったり(広がり)、考えの根拠がより明確になったり、統合的・発展的に考えられたり(深まり)して、考えの変容のある活動

この対話の中で、聞いている人の心を傷つけることなく自分の思いを伝えたり、対立する意見を受け止めてよりよいものを考えたりできるようになれば、子どもたちにとって対話がより楽しくなり、それが日常の会話にも反映されるようになるのではないかと思います。

各家庭においても**家族のコミュニケーション**を大切にされることを期待しています。

(校長 北原 弘明)